

一羽は東に  
一羽は西に  
一羽はカッコーの巣の上を  
飛んでいった……

※現代アメリカの青春群像をつらぬいた感動と共感、  
ステージからスクリーンへ、涙と笑いの中に明日を語る衝撃の問題作！

◆ジャック・ニコルソン主演◆ミロス・フォアマン監督作品◆

# カッコーの巣の上で

カラー作品

ルイーズ・フレッチャー  
ウィリアム・レッドフィールド  
ウィル・サンボン  
ブラッド・ドリーフ

製作 / ソウル・セインツ  
マイケル・ダグラス  
原作 / ゲン・キージー(富士房刊)  
脚色 / ローレンス・ホウベン  
ポー・ゴールドマン  
撮影 / ハスケル・ウエクスラー  
音楽 / ジャック・ニッチェ  
サウンドトラック / ファンタジーレコード

United Artists  
ユナイテッド映画

ゴールデン・グローブ賞  
6部門独占受賞  
最優秀作品賞  
最優秀監督賞  
最優秀主演男優賞  
最優秀主演女優賞  
最優秀新人男優賞  
最優秀脚色賞

ナショナル・ボード・オブ・レビュー 最主演男優賞  
全米映画批評家協会 主演男優賞  
ニューヨーク映画批評家協会 主演男優賞

**JACK NICHOLSON**  
**ONE FLEW OVER  
THE CUCKOO'S NEST**

◆ラストの昂奮が 凄い傑作ドラマ!

涙をのんでマクマーフィーの顔面に枕を押しつけるチーフ・プロムデン：自らの手で友の命を奪わなければならなかった悲劇とは裏腹に、それはチーフがマクマーフィーに差しのべた最後の友愛の証しでもあった――。

「この作品が観客にアピールした最たる理由を求めるとすれば、ラスト・シーンの強烈な感動を先ず第一に挙げなければならぬ」

先頃、宣伝キャンペーンで来日した監督ミロス・フォアマンが自信のほどをこう豪語した「カッコの巢の上で」。その素晴らしさは、すべてこの感動と昂奮のラストに集約されるといっても過言ではあるまい。

舞台はオレゴン州の一精神病院。仮病を装って刑務所から送られてきた型破り人間ランドル・P・マクマーフィー（ジャック・ニコルソン）の奇矯な行動を通して、支配するものとされるもの、権力と大衆という図式を問いつめ、最後には圧倒的感動の人間讃歌にまで高めた、充実アメリカ映画が又々放つ傑作ドラマの登場である。

◆神技！ニコルソンの名演

「ランドル・P・マクマーフィー役は、他の作品からジャック・ニコルソンを想起させることを不可能とした」

「あまりにも完璧なニコルソンの演技。そのため、他のハリウッド・スターが演劇学校のアマチュアに思えてくる」

「名優が二〇〇パーセントはまり役にめぐり逢った結果生じたまれにみる成功」

フオアマン演出がきわ立つた冴えを見せるラストの感動を、作品成功の第一のポイントとすれば、万人が認めるニコルソンの名演技をその第二に推さないわけにはいかない。すでにニューヨーク映画批評家協会賞、全米映画批評家協会賞、ナショナル・ボード・オブ・レビュー誌、ゴールデン・グローブ賞の各主演男優賞を獲得、残るメイソン・イベント、アカデミー賞も確実というマクマーフィー役は、観るものに映画演技のサンプルを突きつける。

加えて婦長ラチェッドのルイーズ・フレッチャー（ボウイ&キーチ）、ピリー役のブラッド・ダリフ、チーフ役

JACK NICHOLSON  
ONE FLEW OVER  
THE CUCKOO'S NEST

United Artists  
A Transamerica Company  
ユナイト映画

のウィル・サンブソンらの名演が鮮かに絡み合い、ニコルソンを盛り上げている。  
監督は、チェコ出身の亡命作家ミロス・フォアマン（パズれてるウ、時よとまれ君は美しい）、脚本はポー・ゴールドマンとローレンス・ハウベン、撮影総監督を名手ハスケル・ウエクスラー（夜の大捜査線、アメリカカン・グラフィティ）がつとめている。  
サリンジャーの「ライ麦畑でつかまえて」、J・ヘラーの「キャッチ22」とともに、アメリカ反体制文化の先駆をなしたケン・キージーの原作は、初版以来三〇〇万部を売り切った若者の愛読書だが、あちらでは映画の大ヒットとともに、再びベストセラー・ランクにその顔をのぞかせているという。  
（上映時間二時間一三分）

■キャスト

マクマーフィー……………ジャック・ニコルソン  
看護婦ラチェッド……………ルイーズ・フレッチャー  
ハーディング……………ウイリアム・レッドフィールド  
チーフ・プロムデン……………ウィル・サンブソン  
ピリー・ビビット……………ブラッド・ダリフ  
チェズウィック……………シドニー・ラシック

■スタッフ

監督……………ミロス・フォアマン  
制作……………ソウル・ゼインツ／マイケル・ダグラス  
原作……………ケン・キージー  
脚色……………ローレンス・ハウベン／ポー・ゴールドマン  
撮影……………ハスケル・ウエクスラー  
音楽……………ジャック・ニッチェ

（カラー作品）

カッコの巢の上で

本年度アカデミー賞主要5部門受賞 4月17日(土)感動のロードショー

■最優秀作品賞 ■最優秀主演男優賞 ■最優秀主演女優賞  
■最優秀監督賞 ■最優秀脚色賞

みゆき座 (591) 5357 新宿文化 (351) 3414

特別鑑賞券発売中！ 1名900円 (一般1200円のところ) (学生1000円)

